

# ピアノを弾こう!

## 教室訪問 PART 2 第6回

子どものレッスン、大人のレッスン、さて今回は?

今月のピアノ教室 東京・東久留米市 / 聡子ピアノスクール



住宅街の一角にあるため、教室は二重サッシで防音設備を施している。室内にはグランドピアノ1台と、以前教えていたエレクトーンがあり、ソファとテーブルも置かれている。個人のピアノ教室ならではのアットホームな雰囲気だ。自宅で大人の生徒を教える時は、レッスンのあとにおしゃべりを楽しむことも。連絡先は、木口 ☎ 042-364-6178 まで。西武池袋線「東久留米駅」より徒歩約5分。

# 収穫と新しい発見を促す、大人の生徒のピアノレッスン

今回訪問したのは、東京・東久留米市でピアノ教室を主宰する木口聡子先生の「聡子ピアノスクール」だ。幅広い年齢層の生徒を指導する木口先生だが、何十年とレッスンを続けている大人の生徒も多い。大人向けレッスンのコツとは?

さあ、レッスンしましょ!

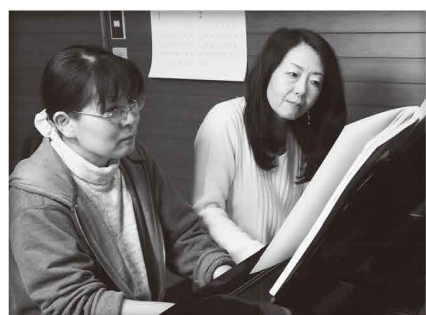
今月の先生と生徒

木口聡子先生

きぐち・あきこ ●国立音楽大学卒業後、楽器店所属のピアノ&エレクトーン講師として活躍。自宅でもピアノ教室を主宰し、10~60代まで幅広い世代の生徒を教える。ヤマハ音楽振興会東日本エリアの児童・大人兼任PSTA講座スタッフ。

はるきあきこ 春木晶子さん(40代)

幼少期から高校までピアノを習っていたが、大学進学で中断。社会人になってからピアノを再開し、楽器店の教室で木口先生と出会う。現在も隔週ペースで、木口先生のレッスンを続けている。



この日、レッスンしていた曲はグリーグの「トルドハウゲンの婚礼の日」と、映画『コーラスライン』の名曲「ONE」だった。

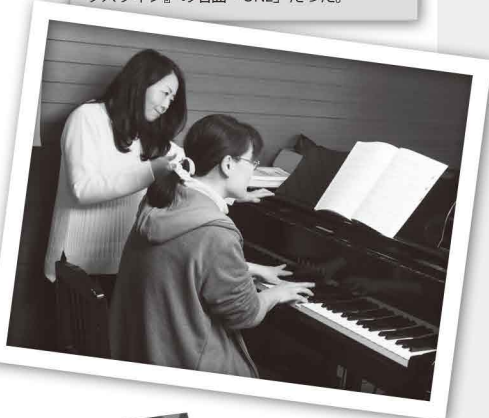
木口先生のレッスン流儀

“与えるピアノ”ではなく、“リードするピアノ”を!

春木さんの娘さんも木口先生のレッスンに通う、親子2代で教え子。「娘さんは、お母さんとは逆のマイペースタイプですね」

春木さんがレッスンを休んだのは、出産で入院した時だけ。「病院から“今、生まれました”って電話をもらったわよね」(木口先生)

病院から出産の報告もありましたね



クラシックからポピュラーまで、約180曲のレパートリーが載る「大人のためのPiano Study」を使用。

連弾でも、ピアノ上級者の春木さんは木口先生の手の動きにしっかりと付いていく。

## 習う目的に合わせた臨機応変の指導

20年以上前から木口聡子先生のレッスンを受ける春木晶子さん。社会人になって再び通い始めたピアノ教室での出会いが始まりだった。春木さんは、ベートーヴェンもショパンも弾きこなすピアノ上級者だが、「小さい頃からクラシック一辺倒の練習だったので、譜面は読めても、ポピュラー音楽はうまく弾けないんですね。それで、もう一度教室に通い直そうと思ったんです」

春木さんのような再開組もいればドレミから始める人など、大人

の生徒の場合は、目的も演奏レベルもライフスタイルも千差万別。木口先生は、「目的に応じて臨機応変に指導をすることが大切です」と話す。生徒の“弾きたい気持ち”をどうやって引き出すかを、常に考える。「ポピュラー音楽は、リズムの間合いやノリとか、木口先生にアドバイスやヒントをもらって弾かないと先に進めない」と春木さん。

忙しい時間を割いてレッスンに通う大人だからこそ、“今日も習いにきて良かった”と思えるような“収穫”を持ち帰ってほしい。「それをポリシーとしています」と、木口先生。



たとえば、バッハは好きじゃないという生徒には敢えてバッハを選曲して興味を引き出すなど、「相手の希望を取り入れつつ、単に“与えるピアノ”ではなく、“リードするピアノ”を教えるようにしています」

「曲の世界を共有する」ことも重

要で、大人の生徒のレッスン時間は原則60分だが、長いときは2時間ぐらいいなることもあるほど(笑)、コミュニケーションを大切にしている。

収穫や新しい発見があること。それが、大人の生徒のピアノを長続きさせるコツでもあるようだ。